

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限（設定日：2005年10月28日）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド（ベビーファンド）	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第18期

（決算日：2023年10月27日）

ソフトバンク & SBI グループ 株式ファンド 特化型

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、2023年10月27日に第18期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

 SBI Asset Management

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
14期(2019年10月28日)	12,820	0	0.7	96.0	1,208
15期(2020年10月27日)	18,062	0	40.9	97.7	1,042
16期(2021年10月27日)	20,226	0	12.0	96.7	1,095
17期(2022年10月27日)	17,370	0	△14.1	95.7	930
18期(2023年10月27日)	18,643	0	7.3	95.8	924

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2022年10月27日	17,370	—	95.7
10月末	17,771	2.3	96.1
11月末	17,407	0.2	96.6
12月末	16,609	△4.4	96.2
2023年1月末	17,480	0.6	97.3
2月末	17,007	△2.1	97.7
3月末	16,878	△2.8	96.9
4月末	16,726	△3.7	96.0
5月末	16,712	△3.8	93.8
6月末	18,223	4.9	97.0
7月末	19,215	10.6	98.6
8月末	19,247	10.8	97.2
9月末	19,136	10.2	95.2
(期末)			
2023年10月27日	18,643	7.3	95.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年10月28日から2023年10月27日まで）

○基準価額等の推移



期首：17,370円

期末：18,643円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 7.3%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国の金融政策緩和への期待
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施されていた中国の行動制限緩和への期待
- ・原油高一服に伴ってリスク回避の動きが後退したこと
- ・良好な米国大型ハイテク企業や一部の国内企業の決算
- ・海外投資家からの買いが強まったこと
- ・日本銀行の金融緩和策の修正への期待などから保有株のうち金融・保険関連株の上昇が大きくなったこと

下降要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引上げ
- ・中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・日本銀行の金融政策決定会合において、長期金利の許容変動幅が拡大されたこと
- ・米銀行破綻により信用不安が強まったこと
- ・米国で金融引き締めを受けて小型グロース株の調整が続くなど悪環境のなか保有株のうち小型グロース株の下落が大きくなったこと

○投資環境

期初、日経平均株価は27,000円台で始まりました。米投資会社による国内商社株の積み増しが報道され、2022年11月にかけて日経平均株価が上昇したものの、12月は日本銀行が金融政策決定会合で長期金利操作の許容変動幅を拡大したことにより日経平均株価が下落しました。しかし、2023年1月は日本銀行が現行の金融政策を維持するとともに、金利上昇の抑制を図る措置を決定したことから、日経平均株価は上昇しました。2月は、月間を通じて狭いレンジ内での動きとなりました。円安や日本銀行の新総裁が金融緩和維持姿勢を示したことなどが支えとなりましたが、米国株安による下落圧力がかかり、日経平均株価は小幅な上昇にとどまりました。3月中旬、米銀行破綻懸念を受けて日経平均株価が軟調となりました。しかし、米当局の迅速な対応により信用不安が後退し、3月は上昇しました。4月は堅調な米雇用統計から米景気減速懸念が和らぐ中、米著名投資家が日本株への追加投資を示唆したことや、国内小売大手の決算などが好感され、上昇しました。5月、6月は、国内企業の好決算や海外投資家からの買いが強まったとともに、円安の進行が支えとなり、上昇しました。7月～10月は、中国景気回復遅延への懸念や米国での金利高止まり長期化観測が強まったことや米株安などを受けて軟調でした。結局、日経平均株価は31,000円近辺で期末を迎えました。

市場別では、日経平均株価が+13.3%、TOPIXが+18.3%、東証マゼース指数が▲14.2%となりました。また33業種分類では、銀行業、鉄鋼などがアウトパフォーマンスし、精密機器、医薬品などがアンダーパフォーマンスしました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ALBERT(3906)がアクセンチュアに吸収合併されたほか、SREホールディングス(2980)をZホールディングスとの一連の業務提携見直しを受けて最終的に売却しました。一方、新規上場した、住信SBIネット銀行(7163)、レオス・キャピタルワークス(7330)を組み入れたほか、SBIグループ入りしたアルヒ(7198)を組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2022年10月28日～ 2023年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,437

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資をします。組入比率は、投資信託説明書(目論見書)に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年10月28日～2023年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	164 (78) (78) (8)	0.924 (0.440) (0.440) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	10 (10)	0.057 (0.057)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	11 (11) (0)	0.060 (0.060) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	185	1.041	
期中の平均基準価額は、17,700円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

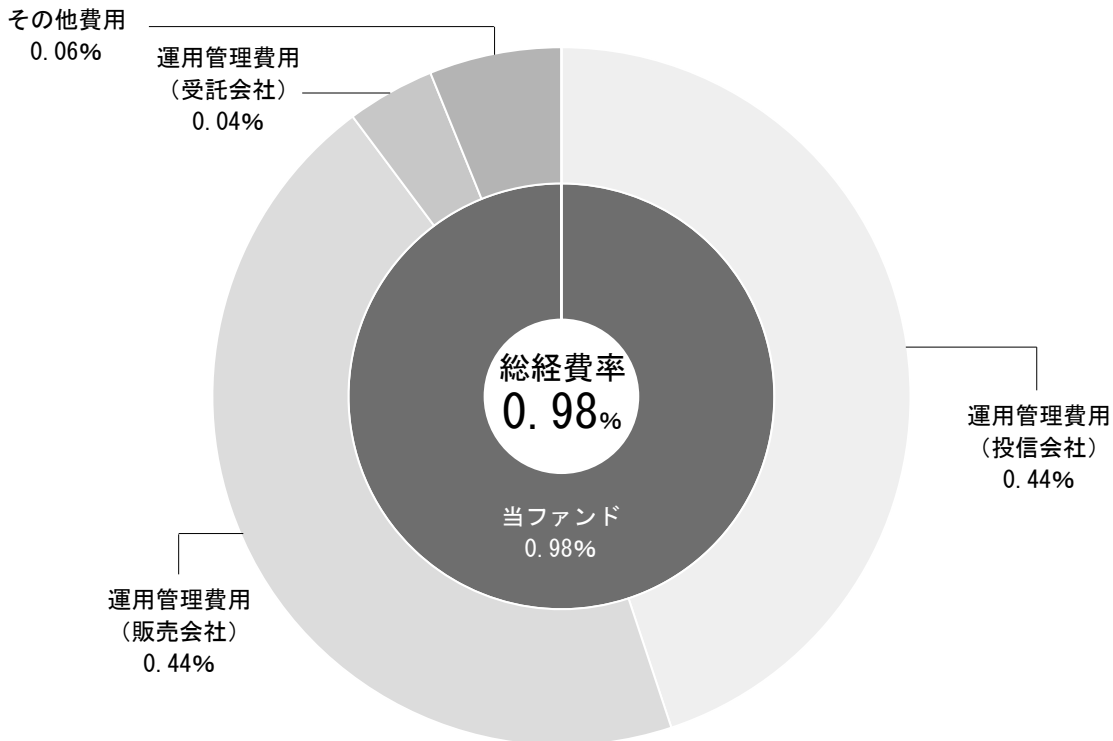
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.98%**です。



(注1) 上記費用は、1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月28日～2023年10月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 55,291	千円 116,510	千口 90,193	千円 190,920

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年10月28日～2023年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	419,502千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	889,596千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月28日～2023年10月27日)

利害関係人との取引状況

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人との取引状況	
	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人との取引状況D		$\frac{D}{C}$	
株式				百万円 181		百万円 5

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
株式	百万円 14	百万円 6	百万円 49

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額
株式	百万円 5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングス株式会社、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2023年10月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 460,163	千口 425,260	千円 929,152

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千円 929,152	% 99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,617	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	932,769	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	932,769,515円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	16,949
ソフトバンク&SBIグループ株 式・マザーファンド(評価額)	929,152,566
未 収 入 金	3,600,000
(B) 負 債	8,172,998
未 払 解 約 金	3,571,649
未 払 信 託 報 酬	4,326,349
そ の 他 未 払 費 用	275,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	924,596,517
元 本	495,947,087
次 期 繰 越 損 益 金	428,649,430
(D) 受 益 権 総 口 数	495,947,087口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	18,643円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	535,486,134円
期中追加設定元本額	76,192,834円
期中一部解約元本額	115,731,881円

○損益の状況 (2022年10月28日～2023年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 4,230円
支 払 利 息	△ 4,230
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	67,810,681
売 買 益	78,780,803
売 買 損	△ 10,970,122
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,065,529
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	58,740,922
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,116,747
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	344,791,761
(配 当 等 相 当 額)	(301,063,712)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,728,049)
(G) 計 (D + E + F)	428,649,430
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	428,649,430
追 加 信 託 差 損 益 金	344,791,761
(配 当 等 相 当 額)	(301,432,055)
(売 買 損 益 相 当 額)	(43,359,706)
分 配 準 備 積 立 金	166,604,294
繰 越 損 益 金	△ 82,746,625

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,297,045円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(301,432,055円)および分配準備積立金(146,307,249円)より分配対象収益は468,036,349円(10,000口当たり9,437円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第18期 運用報告書

(決算日 2023年10月27日)

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドの第18期（2022年10月28日から2023年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	本ファンドは、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
14期(2019年10月28日)	14,440	1.6	96.3	1,205
15期(2020年10月27日)	20,562	42.4	98.0	1,038
16期(2021年10月27日)	23,259	13.1	97.1	1,091
17期(2022年10月27日)	20,161	△ 13.3	96.0	927
18期(2023年10月27日)	21,849	8.4	95.3	929

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2022年10月27日	20,161	—	96.0
10月末	20,630	2.3	96.3
11月末	20,222	0.3	96.9
12月末	19,308	△ 4.2	96.5
2023年1月末	20,341	0.9	97.6
2月末	19,804	△ 1.8	98.0
3月末	19,670	△ 2.4	97.1
4月末	19,509	△ 3.2	96.6
5月末	19,509	△ 3.2	93.7
6月末	21,288	5.6	96.8
7月末	22,463	11.4	98.4
8月末	22,519	11.7	96.9
9月末	22,407	11.1	94.8
(期末)			
2023年10月27日	21,849	8.4	95.3

(注1) 騰落率は期首比。

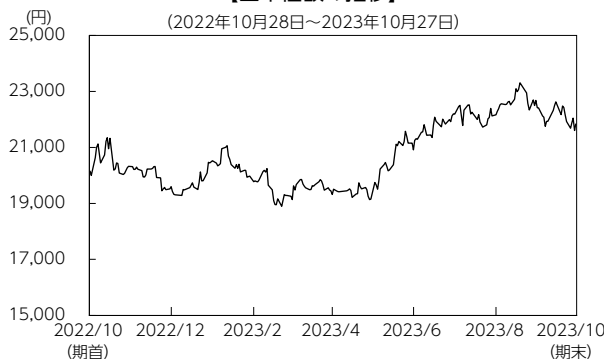
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年10月28日から2023年10月27日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首20,161円から始まったあと、期末には21,849円となりました。期を通じて騰落率は8.4%の上昇となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2022/10/27	2023/9/15	2023/3/20	2023/10/27
基準価額（円）	20,161	23,308	18,895	21,849

【組入上位10銘柄】

(2023年10月27日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	32.4
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	31.0
3	LINEヤフー	情報・通信業	円	日本	17.1
4	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	5.1
5	ZOZO	小売業	円	日本	5.1
6	住信SBIネット銀行	銀行業	円	日本	1.4
7	アスクル	小売業	円	日本	1.2
8	SBIグローバルアセットマネジメント	サービス業	円	日本	0.3
9	SBテクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.3
10	出前館	情報・通信業	円	日本	0.2
組入銘柄数		22銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、P16に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しています。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、ALBERT（3906）がアクセンチュアに吸収合併されたほか、SREホールディングス（2980）をZホールディングスとの一連の業務提携見直しを受けて最終的に売却しました。一方、新規上場した、住信SBIネット銀行（7163）、レオス・キャピタルワークス（7330）を組み入れたほか、SBIグループ入りしたアルヒ（7198）を組み入れました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2022年10月28日～2023年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 12 (12)	% 0.058 (0.058)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	12	0.058	
期中の平均基準価額は、20,639円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年10月28日～2023年10月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 200	千円 181,673	千株 144	千円 237,828

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年10月28日～2023年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	419,502千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	889,596千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月28日～2023年10月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 5	% 2.8	百万円 237	百万円 -	% -	

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
株式	百万円 14	百万円 6	百万円 49

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはSBIグローバルアセットマネジメント株式会社、SBIホールディングス株式会社、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2023年10月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評価額	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円			
情報・通信業 (85.2%)						
出前館	5.8	7.2	2,311			
メディカル・データ・ビジョン	1.8	2.2	1,467			
ALBERT	0.2	—	—			
ブロードバンドセキュリティ	0.2	0.2	282			
LINEヤフー	338.9	417.6	158,688			
SBテクノロジー	1	1.2	2,548			
ソフトバンク	212.6	178	301,354			
ソフトバンクグループ	57	46.9	287,966			
小売業 (6.6%)						
ベクターホールディングス	0.6	1.1	258			
アスクル	4.3	5.3	10,759			
ZOZO	13.8	17	46,996			
銀行業 (1.5%)						
住信SBIネット銀行	—	8.2	13,046			
証券、商品先物取引業 (5.5%)						
SBIリーシングサービス	0.3	0.4	899			
レオス・キャピタルワークス	—	0.7	732			
SBIホールディングス	12.1	15	47,220			

銘柄	期首(前期末)			当 期 末		
	株 数	株 数	評価額	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円			
保険業 (0.2%)						
SBIインシュアランスグループ	1.1	1.4	1,597			
その他金融業 (0.2%)						
アルヒ	—	2	1,644			
不動産業 (—%)						
SREホールディングス	0.7	—	—			
サービス業 (0.8%)						
アイティメディア	0.9	1.1	1,140			
バリューコマース	1.5	1.9	2,278			
SBIグローバルアセットマネジメント	4	4.9	2,670			
サイジニア	0.3	0.3	308			
ジーニー	0.8	1	982			
イーエムネットジャパン	0.2	0.2	160			
合 計	株数・金額	658	713	885,311		
	銘柄数<比率>	21	22	<95.3%>		

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2023年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 885,311	% 94.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	47,426	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	932,737	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	932,737,194円
コール・ローン等	37,659,544
株 式 (評 価 額)	885,311,900
未 収 配 当 金	9,765,750
(B) 負 債	3,600,113
未 払 解 約 金	3,600,000
未 払 利 息	113
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	929,137,081
元 本	425,260,912
次 期 繰 越 損 益 金	503,876,169
(D) 受 益 権 総 口 数	425,260,912口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	21,849円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	460,163,518円
期中追加設定元本額	55,291,037円
期中一部解約元本額	90,193,643円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク & S B I グループ株式ファンド	425,260,912円

○損益の状況 (2022年10月28日～2023年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	24,527,956円
受 取 配 当 金	24,560,725
支 払 利 息	△ 32,769
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	51,293,510
売 買 益	70,088,525
売 買 損	△ 18,795,015
(C) そ の 他 費 用	△ 54
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	75,821,412
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	467,562,151
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	61,218,963
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 100,726,357
(H) 計 (D + E + F + G)	503,876,169
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	503,876,169

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。